

えひめ水産イノベーション地域だより

発行：公益財団法人 えひめ産業振興財団
えひめ水産イノベーション創出地域
TEL 089-960-1153 FAX 089-960-1105
E-mail : sakamoto@ehime-iinet.or.jp
http://www.ehime-iinet.or.jp/inove/

第8号 平成25年8月2日発行

8月、まだまだ暑い日が続きます。

旧暦では8月1日のことを「八月朔日」と書き、略して「八朔」(はっさく)と言ったそうです。

柑橘類の「八朔(はっさく)」は、広島県の因島にあった原木が栽培種となり、明治19年に「八朔」(はっさく)と名付けられたとのこと。「八朔」の頃から食べられたからだと言われています。

暑い夏、「八朔」のようなさっぱりとした気分で、事業に取り組んで参りますので、今後ともご支援・ご協力よろしくお願いします。

ホームページを、一度見て下さい

今年4月4日発行、第4号で「えひめ水産イノベーション」のHPの開設をお知らせしましたが、覗いていただけましたか。まだの方は、一度覗いて見て下さい。そして、できることならば、「お気に入りに追加」し、これからも時々、覗いてください。よろしく。

現在、9月末までの予定で、HPの拡張作業を進めており、完成したものから順次、追加・更新し、新しい情報を発信しております。

これまでに、研究開発している6つのテーマの詳しい内容、「水産イノベーションスキル修得講座」の開催状況や既報の「えひめ水産イノベーション地域だより」等を新たにアップしました。

アドレスは、次のとおりです。

<http://www.ehime-iinet.or.jp/inove/>



ホームページのトップページ

25年度人材育成講座について

宇和海の水産業の6次産業化を担う人材の育成を目指した「水産イノベーションスキル修得講座」

座」の第3回の講座が7月20・21日に宇和島市(愛媛大学宇和島エクステンション)において開催され、宇和海の水産業が直面している問題や水産物の消費の拡大や輸出の問題点などについて講義がありました。

講師陣は多彩で、県水産研究センター栽培資源研究所長金尾聡志氏、愛媛大学社会連携機構客員教授村田武氏、鹿児島県漁連営業部長宮内和一郎氏、愛媛大学南予水産研究センター准教授竹ノ内徳人氏、広島大学大学院生物圏科学研究科教授山尾政博氏の5氏。

金尾氏からは宇和海の水産業を取り巻く問題点、全国的な水産物の消費の減少や県産水産物の消費拡大、販路拡大、輸出の取組み等について、宮内氏からは鹿児島における「地魚地食」の取組みや地元スーパー向けの鮮魚販売戦略等について、山尾氏からは経済成長が著しい東アジアにおける水産物の輸出におけるシステム化、規格の標準化、認証制度等の国際化への遅れや国により輸入手続き、国内流通形態、嗜好性等が異なり、国ごとの販売戦略の構築の必要性について、等々、各講師から有意義な講義がありました。



第3回の講座での講義の様子 講師は金尾氏

25年度版パンフを作成しました

えひめ水産イノベーション戦略支援プログラムの25年度版のパンフレットを作成し、関係機関に配布しました。

ご入用の方は、御連絡下さいお届けします。

